

(独)造幣局基幹サーバ等運用管理作業の評価(案)の概要

1. 業務内容及び契約期間

業務内容:基幹サーバ等の運用管理業務、ヘルプデスク

契約期間:平成25年4月1日から平成28年3月31日までの3年間

2. 実施状況に関する評価

- 確保されるべき質として設定された以下の項目すべてを達成している。
 - (1) ヘルプデスク当日回答率 (90%以上)
 - (2) ヘルプデスク満足度調査 (75点以上)
 - (3) セキュリティの重大障害の件数 (各月0件)
 - (4) 脆弱性の情報把握 (公表から1営業日以内)
 - (5) ウイルス定義ファイルの更新 (各営業日ごと午前10時まで)
 - (6) 基幹サーバの稼働率 (各月99%以上)
 - (7) システム運用上の重大障害の件数 (各月0件)
 - (8) 定期バックアップ率 (年間99%)
 - (9) 業務の内容 (適切に実施)
- 民間事業者からFAQの設置、管理者パスワードの定期的な更新について改善提案がなされ、業務改善を図り良好に業務が実施された。

3. 実施経費に関する評価

本事業の実施経費については、単年度当たり14,760千円であり、従来の実施経費(単年度当たり14,004千円:市場化テスト実施直前の平成23年1月~25年4月)と比べて、756千円(5.4%)増加しているが、作業の増加による経費増を除外すると従来と同程度である。

4. 今後の事業

本事業は、総合的に判断すると良好な実施結果が得られており、造幣局が自ら質の維持向上及びコストの削減を図っていくことが適当であると考えられる。

以上のことから、本事業については、「市場化テスト終了プロセス及び新プロセス運用に関する指針」(平成26年3月19日官民競争入札等監理委員会決定)Ⅱ. 1. (1)の基準を満たしており、今期をもって市場化テストを終了することが適当であると考えられる。